

Information

国際学会で、英語で研究発表をしてみよう！ ～医学生、研修医のための「学会抄録・ 発表方法」ワークショップ～

去る5月25日に京都で開催された米国内科学会(ACP)日本支部年次総会2013では、多くの学生、研修医の参加があり、50編以上の演題発表(ポスター、英語)が行われました。そのなかから、学生部門、研修医部門、内科医師部門の優秀賞が各1名が選考され、口頭発表が英語で行われました。来年も、京都で開催されます(2014年5月30日～6月1日)。

医学研究・国際学会発表にトライしてみたいけど……、「どうやっていいかわからない」「そもそも何を発表すればいいのか、皆目見当もつかない」「身近に質問や相談できる人もいない」と思っていますか？ このワークショップでは国際学会で発表する前に、①発表内容をどうデザインするか？ ②研究発表をどう効果的に行うか？ について学びます。

医学研究分野の豪華講師陣を迎えてのワークショップで、普段では聞けないような話を直接聞いてみましょう。全国から集まる同じような意識をもった同志と一緒に、医学研究や学会発表について学びながら、日々の学習や臨床業務に新しい視点を加えてみませんか？

日時●2013年11月9日(土)午後1時～3時

場所●福島駅前 ホテル辰巳屋。事前登録制。登録方法はwww.acpjic.jpで公開。問い合わせ先: acpws@cscenter.co.jp(事前登録参加費: 学生1000円、研修医・若手医師3000円)。受付期間: 8月1日～9月30日。

テーマ●学生・研修医・若手医師ができる「研究」とは？

内容: リサーチ・クエスションの見つけ方、サーベイ・リサーチ、症例発表、質的研究

主催●米国内科学会(ACP)日本支部 Scientific Program Committee, CAMSE

講師(敬称略)●

・錦織 宏(京都大学医学研究科医学教育推進センター准教授)、ACP日本支部CAMSE副委員長、英国ダンディー大学医学教育学修士課程終了。わが国で数少ない「質的研究」の専門家。医学教育に興味があるという方、医学教育“学”とは何か、医学教育“研究”、質的研究について興味がある方、直接お話を聞いてみましょう。

・福原俊一(京都大学医療疫学分野教授、福島県立医科大学副学長)、ACP日本支部副支部長、ACP日本支部年次総会2014会長。UCSFで内科レジデント、米国内科専門医、FACP。ハーバード大School of Public Health卒。「臨床研究の道標—7つのステップで学ぶ研究デザイン」(健康医療評価研究機構)、「誰も教えてくれなかった診断学」(医学書院)著者。臨床研究・海外留学に興味のある方、直接お話を聞いてみましょう。

・Kenneth E. Nollet(福島県立医科大学)、www.fmu.ac.jp/radiationhealth/whoweare/nollet.html

・栗田宜明(京都大学医療疫学分野)、ACP年次総会2014抄録査読委員長。元三井記念病院腎臓内科

その他、教育病院の若手内科医師、大学院生(内科医)などがご協力予定です。